



新年  
特別企画  
1

「新年のご挨拶」 会頭 渡邊 博美

新年  
特別企画  
2

「ふくしま将来ビジョン  
~2017、その具現化に向けて~」

平成29年  
100th  
Anniversary

ふるさとの元気を支えて1世紀。

福島商工会議所報 ふくしま1月号

平成二十九年一月十日(毎月一回十日発行)

第七六〇号 発行人 福島市三河南町一丁目二〇 コッセビルふくしま八階 福島商工会議所 ☎(024)5361551 印刷 株式会社日進堂印刷所

ふるさとの  
元気を支えて1世紀。

平成29年

100th  
Anniversary

おかげさまで 平成29年  
福島商工会議所 創立100周年。



Topics & Report

[新年特別企画1] 「新年のご挨拶」 福島商工会議所 会頭 渡邊 博美 2

[新年特別企画1] 「新年のご挨拶」 日本商工会議所 会頭 三村 明夫 4

[新年特別企画2] ふくしま将来ビジョン  
～2017、その具現化に向けて～ 6



[不動産ひとくちコラム] 2017年不動産市況 12

Information

[こちら中小企業相談所] 「平成28年分所得税決算・確定申告のご相談について」のご案内 13

[会議所のうごき] 福島市医産連携研究会 他 14

[女性会 まどか 青年部トピックス] 新年のご挨拶 他  
～来年度の役員体制が決定～ 平成28年度臨時総会を開催 15

[会議所information] 会員交流会 他 16

今月の表紙



「稲荷神社初詣風景」

特許 商標 意匠 営業秘密 著作権 地理的表示

# 知財の活用について 無料相談いたします!

平成27年度 相談実績 1,300件

ふくしまからはじめよう。

こんな悩みありませんか

- 自社の技術・アイデアを守りたい
- 自社の商品・サービスのブランド化を図りたい
- 自社の技術を活用し有利に事業展開を図りたい
- 海外で自社製品を販売したい
- 自社のどこに知的財産があるのか分からない

中小企業等 相談 支援 知財総合支援窓口

知財のワンストップサービスを提供

- 窓口支援担当者がその場で適切なアドバイス
- 高度な課題には必要に応じて専門家を活用
- 県内の各中小企業支援機関と連携
- 中小企業等への訪問も行います

知的財産活動のメリット

- 有利な事業展開
- 自社ブランドの構築
- 自社技術力の向上
- 社員のモチベーション向上

■特許権所有の有無と売上高営業利益率※

特許なし (中小企業)	特許あり (中小企業)	大企業
1.8%	3.5%	2.6%

■特許権所有の有無と従業員一人当たり営業利益※

特許なし (中小企業)	特許あり (中小企業)
0.29	0.96

約3倍!

知財活用で会社が元気に

■県内唯一の知財ワンストップ相談支援窓口 ■まずはお気軽にご相談ください

福島県知財総合支援窓口 電話：024-963-0242  
〒963-0215 郡山市待池台1-12 福島県ハイテクプラザ2F

(独)工業所有権情報・研修館事業 実施：一般社団法人福島県発明協会 <http://www.fukushima-i.org>

会員様限定!!

100th ANNIVERSARY

## 福島商工会議所創立100周年 記念バッヂのご案内

一緒に創立100周年を盛り上げましょう!!

たくさんの会員事業所の皆様から支えられ、お陰様をもちまして福島商工会議所は平成29年に創立100周年を迎えます。そこでこのたび、創立100周年に向けた機運を高めることを目的に、標記記念バッヂを作製いたします。つきましては、当所ホームページにて詳細をご確認いただき、ぜひお申込みくださいますようお願い申し上げます。(お問い合わせ先：☎総務課 572-7115)

◆創立100周年記念バッヂ 頒布価格：1,000円(税込み)  
◆記念バッヂ ⇒ (縦)9mm×(横)20mm タイタック式 真ちゅう製・金メッキに黒字

【バッヂイメージ】

(原寸大)

# 平成二十九年 新年のご挨拶

福島商工会議所

会頭 渡邊 博美



あけましておめでとございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこと、誠に慶び申し上げます。

昨年11月1日の臨時議員総会で商工会議所の第29期の新体制が発足し、引き続き会頭に就任しました。

さて、当所創設100周年を祝うかのように官・民それぞれに様々な事業が開かれております。昨年10月には念願であった、東北中央自動車道福島大笹生ICの供用が開始となり、いよいよ福島・米沢間も平成29年度中に開通予定となります。また、福島・相馬間も復興支援道路として着々と工事が進んでおり、区間ごとに随時開通予定であり平成32年度までに全線開通となる見通しであります。

中心市街地では、福島市のメインストリートでもある駅前通りのリニューアル整備事業が始まりました。レトロモダンを基調とした街並みをイメージし、歩行者最優先の笑顔と賑わいを育むレング調のシンボルストリートとして平成30年3月に完成予定で、それに伴い各店もファサード整備を行い、レトロと洗練された雰囲気と併せ持つ全く新しい街並み景観が出来上がりますので、楽しみに待っていただきたいと思います。

また、大原総合病院の移転新築に伴う上町開発も動き出しました。最新の医療機器とベット数353床を備えた総合病院棟をはじめ430台駐車可能な立体駐車場が建設され、その周辺道路も交通渋滞を解消するために拡幅されるなど県庁通り周辺も大きく変わろうとしております。

中小企業の経営支援策といたしましては、個々の企業の経営課題に応じた適切な伴走型支援に加え、商工会議所自体の

線現場主義に徹し様々な事業を着実に実施して参ったわけですが、2期目も常に危機感を持ってこれまで以上に現場主義に徹し、福島市の経済を牽引するリーダーとして職務を全うしていく所存であります。

あの東日本大震災とそれにより発生した、東京電力福島第一原子力発電所の事故による、未曾有の大災害からまもなく6年が経過し7年目を迎えようとしています。福島県は、着実な除染作業などにより徐々に復興へと向かっているところではあります。依然として風評被害などで他の被災地域とは異なる深刻な課題に直面しており、中小企業を取り巻く環境はまだ厳しい現状にあります。これまで以上に、福島市の復興・創生に向けて風評被害の払拭と、厳しい原発被害の現状を決して風化させてはならないとの強い気持ちで、国・県に更なる支援を働き掛けていかなければなりません。

当所では福島市が真に復興・創生を果たすための目標を示し、その達成に向け取り組むべき課題とそれに対する施策、更には当所の役割を明確に表した、「ふくしま将来ビジョン」足腰の強い健都ぶくしまを目指してをまとめました。今後、アクションプランを策定し官民一体となってビジョン実現に向けた取り組みを行ってまいります。

さて、本年は福島商工会議所が大正6年7月28日に県内で最初に設立してから支援力向上を図るため、地域を超えた経営指導員同士の協力体制や、他の経済団体や地元金融機関、更に税理士、中小企業診断士などの連携体制を構築した、オールふくしまで経営支援の実効性を高めているところであります。更に、地域の活力を取り戻すため、新規創業者や新分野に進出する事業者を支援する「ふるさと元氣支援補助金」を100周年記念事業の一環として当所独自に創設し、平成32年度まで5年間支援していく事業も展開しております。

また、会員事業所の福利厚生の充実を図っていただくために、多くの会員事業所にご加入いただいております生命共済制度を推奨して参りましたが、昨年11月からはこれまでの保障内容をより充実させながらも、掛け金を下げた「新生命共済制度」としてリニューアルさせていただきました。また、会員事業所の皆様の更なる福利厚生の強化を図るお手伝いをさせていただきます。存じます。

福島市は、復興需要の減少に加え人口減少など様々な課題を抱えており、まだまだ厳しい現状ではありますが、地方創生を実現していくためには会員事業所の発展が最も重要であります。

こうした観点から、足腰の強い健都ぶくしまを目指してを掲げ、会頭2期目として更に会員事業所個々の声をしっかりと聴きながら、これからの3年間を全力で職務に精励し、商工会議所が福島

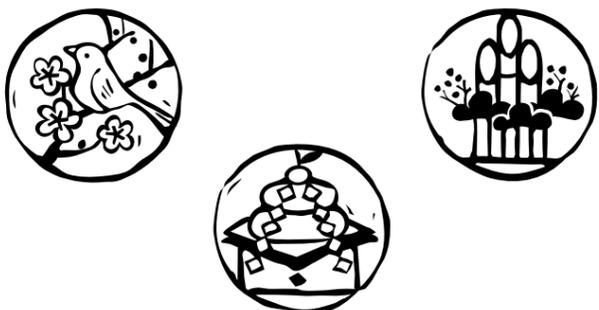
100年となる記念すべき年にあたります。これまで、百年という長きにわたる歴史の中で、幾多の苦難や試練に遭遇しながらも、時代時代の先人の皆様の知恵とたゆまぬ努力によってそれらを克服し、現在の福島市が経済の発展を築きあげた努力に敬意を表するとともに、培われた伝統を継承し、これからの福島市の地域経済の持続的発展と、会員事業所の繁栄が福島商工会議所の最大の使命であるとの強い気持ちで牽引して参ります。

創立100周年事業のコンセプトとして「地域と会員事業所の足腰を強く丈夫に」を念頭に、「ふるさと」の元氣を支えて「世紀」をキヤッチフレーズとして掲げさせていただきます。これからの100年に向け益々福島市の経済が発展を遂げられるよう、地域総合経済団体として常に福島市のまちをリードする存在でありたいとの、固い決意を表現させていただきます。

これまで2年間にわたり、議員、会員、職員の皆様と一丸となって実施して参りました、「創立100周年」に向けた4000会員キャンペーンであります。見事4000会員を達成いたしました。これもひとえに皆様方のご協力の賜物であり、この場をお借りして御礼を申し上げます。今後も4000会員の組織力を活かし、会員事業所の皆様から必要とされる魅力ある商工会議所を目指して参ります。

市の経済を牽引してきた自負と誇りを胸に、オール福島で福島経済の発展と地域の活性化に全力で取り組んでまいる所存でありますので、会員事業所の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立100周年という記念すべき年が会員事業所にとって素晴らしい一年となりますように、併せて皆様のご健勝と企業のご繁栄をお祈り申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



郷土の発展に貢献する橋梁、水門、鉄道車両、産業機械各種クレーンの総合メーカー

## KYOSAN 協三工業株式会社

代表取締役社長 加藤 守

本社・工場 / 福島市佐倉下字光寿院前1-1 (024)593-4901(代)  
郡山営業所 / 郡山市安積町南長久保1-194 (024)947-0633  
東京事務所 / 東京都新宿区百人町一丁目15-19(マルビル6階) (03)3227-2191(代)

ISO9001 JUSE  
ISO14001 JAB  
http://www.kyosankogyo.co.jp

ひとつ上のサービスで、ひとつ上の感動を。

JPX 東証JASDAQ上場 (証券コード 6060)

カンノトレーディング 石材・生花・葬具 卸売事業

たまのや 葬祭事業

石のカンノ 石塔販売・石工事・霊園事業

With Wedding 婚礼・宴会・ケータリング事業

感動のある人生を。 ころネットグループ 本社：ころネット株式会社

ころネットグループ

ころネットグループ 介護事業

ハートライン 互助会事業

牛久葬儀社 葬祭事業

http://cocolonet.jp

# 平成二十九年 新年のご挨拶

日本商工会議所

会頭 三村 明夫



明けましておめでとうございます。平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年11月の臨時会員総会におきまして、各地商工会議所の皆様のご推挙をいただき、日本商工会議所の会頭に再任され、日商会議所として4回目の新年を迎えました。各地商工会議所におかれましては、新体制のもと、新たな年を迎えておられることと存じます。日商としましては、改

めて、515商工会議所125万会員の皆様と総力を結集し、商工会議所の使命である、企業の繁栄、地域の再生、日本の成長の同時実現に向けて、全力で取り組んでまいります。

昨年は、世界中で政治的に様々なサプライズが発生しました。加えて、地政学的混乱の悪化、余剰マネー等の動きによる株価や為替の大きな変動など、振幅の大きい不安定な一年でした。

本年もおそらく国際政治の大きな動きが金融市場を揺さぶる場面などがあるかと思いますが、幸いにして我が国には、世界に誇る安定政権がありますので、いたずらに動揺することなく、じっくりと直面する課題に取り組むことができます。

我が国の最大の課題は、足元で0.2%台まで下がってしまった潜在成長率を引き上げることです。「人手不足」と「生産性向上の停滞」が潜在成長率を押し下げるボトルネックとなっていますので、サプライサイド政策に力を入れて取り組むことが必要です。

サプライサイド政策の特徴のひとつは、政策の打ち出しから成果がでるまで時間を要するということです。また、規制改革等の構造改革は、国全体の効率化・生産性向上を図る政策であり、一部の人には痛みを伴うことから、利害の調整という政治本来の役割が必要となることも特徴です。

従いまして、政府も民間も、アベノミクスやサプライサイド政策には、時間と対応した港湾の整備、コンセッションを活用した空港民営化などは、観光客の増加、設備投資の促進、雇用創出などに大きく寄与するものです。民間投資を喚起するストック効果を重視しつつ、商工会議所としても、社会資本整備を強く要望していく必要があると考えております。

政治的な混乱はあるものの、欧米の経済は堅調と言えます。OPEC・非OPEC諸国の合意により原油の減産が決まり、原油価格も適正な価格に向け上昇し始めています。我が国もまだ大企業の動きではありますが、景況感が好転しつつあります。これは私の仮説ですが、我が国は、2〜3年間の時間的な猶予を得られ、時間と腰を据えた取り組みが必要なサプライサイド政策に大きく舵を切るチャンスを与えられたと言えると思います。

私達は、短期的な動きに一喜一憂することなく、与えられた猶予の大切さを認識した上で、構造改革とイノベーションを着実に深化させていかなければなりません。成長のトレンドを変えるため、これから2〜3年が、我が国にとって勝負の年となります。

日本商工会議所としても、515商工会議所、青年部、女性会、海外の商工会議所等との緊密な連携の下、企業、地域、そして、日本経済の持続的な成長の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

粘り強い取り組みが必要であることを自覚するべきです。

こうした中、商工会議所として重点的に取り組むべき課題は、「中小企業の成長の底上げ」と「地方創生の実現」です。

中小企業が直面している最大の課題が「人手不足への対応」です。深刻化する人手不足に対して、女性や高齢者など多様な人材の活躍を推進していくことが必要です。中小企業は、女性の活躍推進、柔軟な働き方の導入、高齢者の積極的な雇用など「働き方改革」をいち早く実践していかねばなりません。

そして、人手不足を解決するもう一つの方策は、「生産性向上」です。中小企業の生産性は、平均で大企業の二分の一にとどまっていますが、中には大企業の生産性の水準を上回っている中小企業もあり、そうした企業に共通するのは、経営者の成長への意識が高く、ITや設備投資などに積極的であるという点です。ここに生産性向上の鍵があると考えます。

生産性向上の有力な手段として、ICT（情報通信技術）の導入がありますが、中小企業の取り組みは、まだわずかにとどまっています。経営者自身の気づきを促し、ICTを超えて、デジタル技術やAIの導入、ロボットの活用などにより、工場の生産現場やサービス分野の生産性の向上を図っていくことが必要です。人手不足には、その解決を図る過程で、構造改革の中でも最も難しいと言われている

粘り強い取り組みが必要であることを自覚するべきです。

こうした中、商工会議所として重点的に取り組むべき課題は、「中小企業の成長の底上げ」と「地方創生の実現」です。

中小企業が直面している最大の課題が「後継者の確保」であります。商工会議所として、事業承継の支援を積極的に推進するとともに、事業承継の大きなハードルとなっている「事業承継税制の見直し」についても、提言を続けてまいります。

我が国の付加価値額の約半分は、三大都市圏以外の地方で生み出されており、「地方創生の実現」は、潜在成長率の引き上げと持続的な経済成長に不可欠であります。また、東日本大震災や熊本地震の本格復興、福島再生の早期実現なしに日本経済の再生はあり得ません。

私は、地方創生の実現に向けて、広域観光振興や農工商連携など、地域の資源や強みを最大限に活用した成長産業を育成し、域外の需要、消費、投資を取り込むことの重要性を繰り返し申し上げてまいりました。さらに、地域で産んだキャッシュは、地域で消費する循環を創出することが重要だと思えます。

NTT東日本

すべての企業において、  
情報セキュリティ対策は重要な経営課題です。

インターネットバンキングを利用した  
不正送金事件での被害額  
(平成28年上半年)

約8億9,800万円

出典：警察庁「平成28年上半年におけるインターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況等について」(平成28年9月)

警察が把握した標的型メール攻撃  
(平成28年上半年)

1,951件(前年同時期約1.3倍)

出典：警察庁「平成28年上半年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」(平成28年9月)

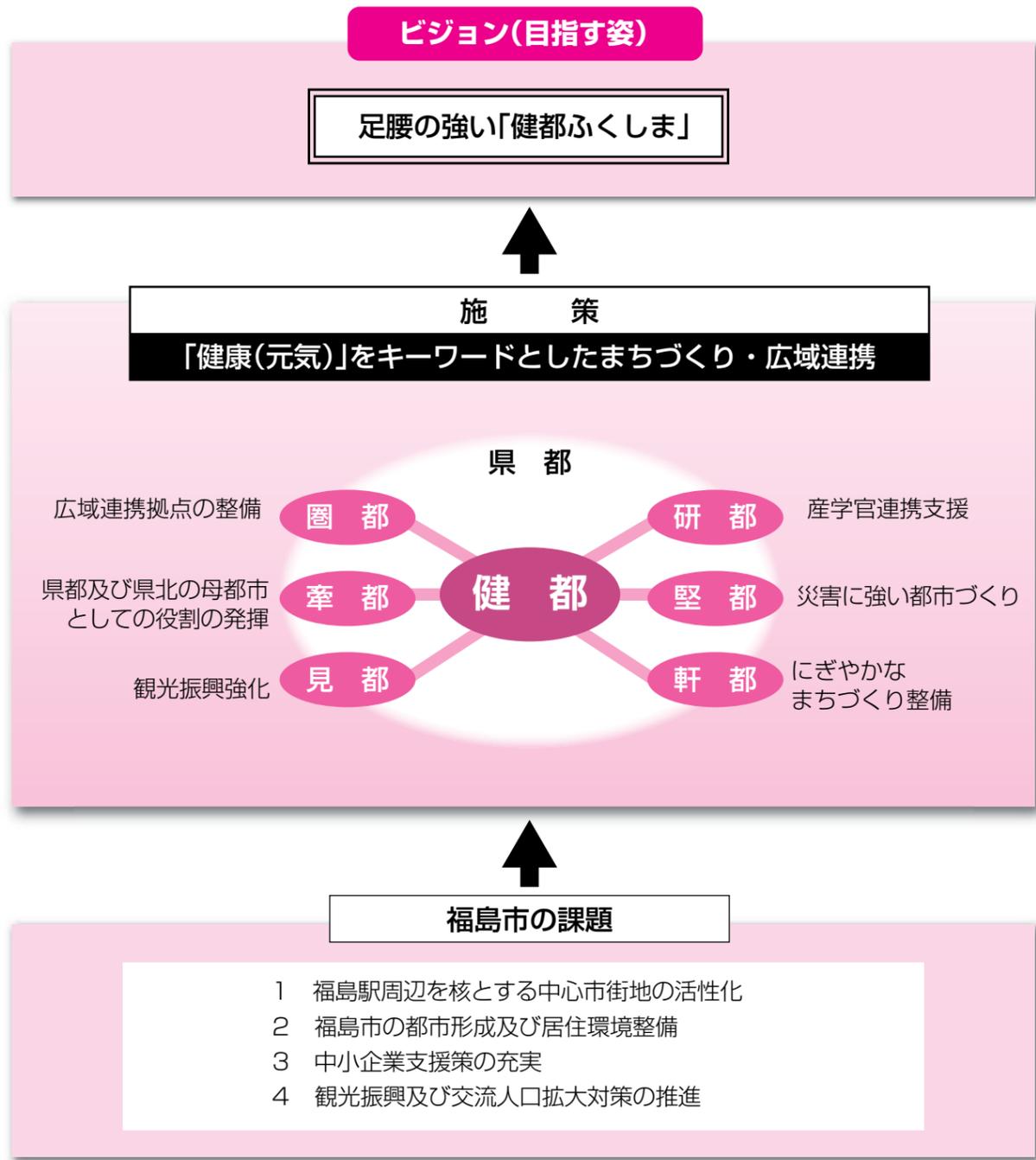
中小企業および小規模企業の  
サイバー攻撃被害状況  
(2014年4月～2015年3月)

およそ10社に1社が  
攻撃を受けています(回答総数1,995社)

注)「サイバー攻撃で被害にあった」「サイバー攻撃を受けたが、被害には至らなかった」の計を用いています  
出典：独立行政法人情報処理推進機構「2015年度中小企業における情報セキュリティ対策に関する実態調査報告書」(2016年3月)

K16-1745【1612-1703】

情報セキュリティ対策は、  
NTT東日本にご相談ください。 0120-446556 受付時間 9:00～17:00  
(土、日、休日、年末年始は除く)



わたしは、読む

質の高い情報は  
新聞だと思う。

**福島民友**

福島民友新聞社 〒960-8648 福島市柳町4-29

ご購入のお申し込みは ☎0120-152214へ

僕は、読む

**ビジョン策定の経緯**

策定に当たってはまず、福島商工会議所全会員を対象とした実態調査を実施するなど、福島市の現状についての確認を行った。また、福島駅前周辺街路整備や大原総合病院移転等による中心市街地の活性化、東北中央自動車道の完成に伴う福島大笹生IC周辺の地域開発といった、これからの福島市の具体的な動きを把握するとともに、福



東日本大震災から5年を経過し、国の施策も復興・創生期間を迎え、地方には、未だ多くの課題を抱えてはいるものの、自立実現に向けた取組みが求められています。

福島市が真の復興・再生を果たすためには、課題の解決を個々(点)で考えるのではなく総合的(面)に捉え、「福島市は何を目指すのか」といった目標(ビジョン)を明確にし、それに向けて取り組むことが必要です。

当所では、平成29年の創立100周年を機に、「福島市の目指す目標を改めて示すとともに、目標達成に向け取り組むべき課題とそれに対する施策、福島商工会議所の役割を明確にすることを目的とした「ふくしま将来ビジョン」の策定を行いました。

今回はビジョンの概要とともに、4名の副会頭に伺ったビジョン具現化に向けた抱負(POI)をご紹介します。

島市内大学との連携、都市環境整備による定住の促進、交流人口の拡大、県都としての福島市の立場や県北地域としての母都市の役割といった、今後福島市が取り組むべき課題の検討を行い、課題を次の4点に整理した。

1. 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化

**「ビジョン」の理念**

2. 福島市の都市形成及び居住環境整備
  3. 中小企業支援策の充実
  4. 観光振興及び交流人口拡大対策の推進
- さらに、これら課題を解決し、将来の姿を描いていくための施策の検討を行い、「ビジョン」を策定した。

足腰の強い「健都ふくしま」を目指して「健康(元気)」をキーワードとしたまちづくり・広域連携

福島市が抱える多様な課題を解決していく視点として、「健康(元気)」をキーワードとしたまちづくり・広域連携を掲げた。

未曾有の震災を経験した福島市が、復興・再生を果たし将来に希望の持てるまちづくりを実現していくためには、市民、企業、地域社会が、元気で健康であること、そして人口減少社会の中で広域連携を推進していくことが必要である。

福島市は、県庁所在地としての「県都」にとどまらず、県北の母都市として県北地域を牽引する「牽都」、産学官連携により研究開発を推進する「研都」、広域連携し圏域を構成する「圏都」、災害に強い都市としての「堅都」、広域連

**目標年次**

おおむね10年後

**ビジョン実現に向けた今後の具体的な取組み**

「ビジョン」は、福島市の真の復興・再生に向けてのスタートラインであり、その実現に向けた具体的な取組み(アクションプラン)が何よりも重要である。そこで福島商工会議所として今後、次のような取組みを行い、「ビジョン」実現を目指す。

1. ビジョン実現に向けたアクションプランの策定
2. 福島市をはじめとする関係機関への提言並びに要望活動の実施
3. 福島商工会議所会員への周知
4. アクションプランに基づいた、短期・中期・長期の具体的な事業の展開

# 足腰の強い「健都ふくしま」の

# 実現に向けた福島市の課題と施策

「健康(元気)」をキーワードとしたまちづくり・広域連携

福島市の課題	施策	
1 福島駅周辺を核とする中心市街地の活性化	来街者に優しい、魅力あふれるまちづくり	中心市街地東口地区の振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>シンボルストリート、街なか広場等の整備による景観形成の推進</li> <li>大原総合病院移転、福島県立医科大学新学部新設との連携(来街者の増加に対応した商店や産業集積、商店街活性化策等の検討)</li> <li>既存商店街の活性化と魅力づくり(まちの活力と市民生活を支える商店街の形成と業種・業態の充実)</li> <li>高度商業機能の集積及び中核機能の強化</li> <li>イベント事業の充実</li> </ul>
	多くの人が集う集客施設の設置	西口ににぎわい拠点形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民に利便性を提供し広域的な集客力を持つにぎわい交流拠点施設の西口への整備</li> <li>コラッセふくしまや関連施設との連携及び新たな機能導入の推進</li> </ul>
	福島駅東口と西口とを有機的に結び付けるにぎわいづくりに貢献する通路の形成	福島駅新東西連絡自由通路の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>福島駅を中心に東西が連携する新たな自由通路の整備</li> <li>利便性を高め福島のシンボルとなる空間整備</li> </ul>
	コンパクトシティの形成と拠点整備による賑わい創出	回遊動線の整備と公共施設の再配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した公共施設の中心市街地への集約及び再配置の推進</li> <li>教育施設や公共施設の連携による回遊動線の整備・強化</li> </ul>
	若い世代のエネルギーを活かしたまちの活性化	若者のまちづくりへの参画 <ul style="list-style-type: none"> <li>福島県立医科大学と福島学院大を核とした若い世代に魅力のあるまちの創造</li> <li>市内の学生及び若者をまちづくり活動に取り込む仕掛けづくり</li> </ul>
	都心居住の推進	高齢者・若い世代の都心居住の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>都心居住促進のための環境整備(集合住宅の整備促進およびニーズに対応したサービスの提供等)</li> <li>日本版CCRC等のモデル的な都市居住エリアの整備</li> <li>空き家対策の推進</li> </ul>
2 福島市の都市形成及び居住環境整備	県都及び県北の母都市としての役割の発揮	県都としての意見発信力の強化並びに県北の母都市としての中核市機能・地域連携の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>県都としての情報発信とリーダーシップの強化</li> <li>中核市及び連携中核都市圏の形成の推進</li> <li>周辺市町村との連携による県北地域の振興</li> </ul>
	基幹道路を積極的に活用した振興、連携施策の展開	東北中央自動車道、福島西道路延伸に伴う福大・県立医大周辺および福島大笹生IC周辺の土地利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>東北中央自動車道、福島西道路沿線における土地利用の見直しと医療関連産業の集積</li> <li>東北中央自動車道福島大笹生IC周辺の物流拠点、新規工業団地の整備</li> <li>県北地域の緊急道路の役割を有する東北中央自動車道霊山ICと医大を結ぶ新たな国道115号ルートの整備推進</li> </ul>
	人口減少と少子高齢化への対応	「健康」「安心」「教育」を前面に押し出したまちづくり(都市イメージの向上による定住の促進) <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に優しい快適な生活環境を実現する歩行空間や住宅環境の整備</li> <li>地域包括ケアの推進</li> <li>健康寿命延伸に向けた取組み</li> <li>若い世代の結婚から妊娠・出産・育児まで切れ目ない支援</li> <li>ICTを活用した魅力的な学習環境の提供等、児童・生徒の教育水準の向上</li> </ul>
	まちづくりと連携した公共交通の整備	公共交通のあり方や役割の再検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化社会の進展に伴う公共交通のあり方についての検討(交通弱者の増加に対応した公共交通整備)</li> <li>中心市街地と周辺地域を結ぶ地域公共交通網の整備</li> <li>新たな公共交通を活用したまちづくりの推進</li> </ul>
	安心と安全を守るための都市インフラ強化	防災・防犯の都市づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>被災予想地域のインフラ強化、吾妻山火山噴火緊急時に対応する新たな幹線道路整備</li> <li>老朽化が深刻化しつつある中心市街地のインフラの整備</li> <li>センサーやカメラ等の活用による災害予測や防犯設備・機能の強化</li> <li>災害発生後の情報受発信機能の強化(Wi-Fi環境の整備等)</li> </ul>
	情報を活用したまちの魅力の促進	ICTへの対応促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>情報を活用した災害に強いまちづくりの整備</li> <li>スマートシティ実現による環境に優しいまちづくりの実現</li> <li>ICTの観光、教育、医療・健康等への活用促進</li> </ul>

足腰の強い「健都ふくしま」を目指す

「健康(元気)」をキーワードとしたまちづくり・広域連携

福島市の課題	施策	
3 中小企業支援策の充実	福島市の経済を担う中小企業の体質強化	市内中小企業を取り巻く諸課題の解決 <ul style="list-style-type: none"> <li>既存中小企業の経営支援の強化</li> <li>人材育成と事業承継支援</li> <li>東北中央自動車道を活かした米沢市・相馬市の事業所や山形大学工学部等との連携の推進</li> <li>大学等をはじめとする研究機関との産学連携の推進</li> <li>工業用地の確保、企業誘致及び地元企業との連携の推進</li> <li>女性の社会進出支援策の推進</li> </ul>
	産業集積、地域活力を高める新規創業、新分野進出の充実	新規創業対策、新分野進出支援の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>新規創業者及び創業後一定期間の支援強化</li> <li>業種転換、新分野進出支援の推進</li> <li>チャレンジショップへの家賃補助、貸し工場等による創業支援の強化</li> <li>福島大学の新たな農学系教育研究組織と連携した6次化の推進</li> </ul>
	福島市の産業機能高度化に向けた新産業の育成	再生可能エネルギー分野や医療福祉分野への参入支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>研究機関や行政との連携による新産業育成支援強化</li> <li>進出企業等との連携の推進</li> <li>福島市医産連携推進事業の推進</li> </ul>
4 観光振興及び交流人口拡大対策の推進	従業員の健康増進による生産性の向上	健康で働きつけられる職場環境の創造(経営的視点の導入) <ul style="list-style-type: none"> <li>「健康経営®」の導入</li> <li>ヘルスケア産業の育成支援</li> <li>従業員の家族介護への支援</li> <li>会員事業所に対する健康ステーション事業の検討</li> </ul>
	継続的な観光振興強化策による交流人口の増加	観光振興策の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>既存観光資源(温泉、磐梯吾妻スカイライン、花見山、信夫山、福島中央競馬場、宮畑遺跡、円盤餃子®などの食文化や果物等の食材、豊富な花や緑)の活用の推進及び道の駅の整備</li> <li>新たな観光資源の開発</li> <li>観光振興の中核組織となる「日本版DMO」の推進</li> <li>事業所における「おもてなし」サービスの向上や新商品開発に対する支援</li> </ul>
	外国人観光客に対する環境整備の促進	インバウンドへの対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語によるサービスの提供や情報発信、まちなか案内の外国語表記整備</li> <li>東京オリンピック・パラリンピックを見据えた誘客事業の推進</li> <li>官民連携でのWi-Fi環境の拡充</li> <li>西口ににぎわい交流拠点における国際会議等への対応とコンベンションの誘致</li> </ul>
	歴史や文化に根差した福島市固有の魅力の発信	歴史、文化を活用したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>福島わらじまつりの興隆</li> <li>福島市の歴史の再発見と活用・福島市の伝統・文化の掘り起しによる魅力の発信</li> <li>福島市名誉市民「古閑裕而」氏に関連した各種事業の推進</li> <li>SNSやAR等を活用した福島の文化・伝統の発信</li> </ul>
	広域連携による交流人口拡大	仙台空港や東北中央自動車道の活用等による広域連携の促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>相馬・米沢方面から観光客・買い物客などを呼び込むための誘致策の検討(通行料金の無料化というメリットを有効活用したPR戦略)</li> <li>民間化した仙台空港や幹線道路網を活用した、南東北3県にまたがる広域的な観光商品の開発</li> <li>観光振興のための周辺市町村との連携の推進</li> </ul>
スポーツイベントへの支援による地域振興	福島ユナイテッドFCへの支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>J1・J2参入時に不可欠な大規模スタジアムの整備に向けた、民間と行政との密接な連携</li> <li>地元根差したチーム作りに不可欠なサポーターづくりへの支援</li> </ul>	

足腰の強い「健都ふくしま」を目指す



副会長 菅野日出喜

Hideki Kanno  
菅野建設(株) 代表取締役

ビジョンによって福島を抱える課題が具体的に抽出されました。今年から解決のためのアクションプランの策定と実行が勝負となるわけですが、前提として福島の皆がどれだけの危機意識を共有できるか、ということが極めて重要だと感じています。例えば、人口減少問題ひとつをとっても、行政、商工業者、市民の方々の危機感に温度差があったりは難しいでしょう。立場や観点は違えど、危機意識が共有できれば交流人口もぐやうやうたら福島にきて、い

てもらえるのか、具体的な策を見出していけると思っています。その中で商工会議所は地域のディストリビューターの立場で、パワフルに動く人を応援したり、医産連携など構築が進む新産業と会員事業所を繋ぐ役割を担いたいです。

### 100周年、皆の気持ちの集約を

そして本年はいよいよ創立100周年！次の時代に向けて皆の気持ちの集約・結末の時とできるよう、現在実行委員会にて式典やイベントの詳細を検討しています。会員交流会について私としては、出席してくれる会員さんを労う最高のもてなしの場としたいので、堅いこと抜きにちよつと時間ができた方に気軽に寄っていただけような、オールウェルカムな雰囲気づくりを考えています。

またこの100周年を機に多くの事業所にお声掛けしご入会を勧めました。皆さん決まって口にするのは、「加入するメリットは？」ということ。これに対し、商工会議所は会員の皆様を守るためのアイデアを出し、自らの財源で継続性のある支援事業を実施していかねばなりませんし、ビジョンの達成を通じて会員の皆様のご商売を盛り上げていきたいと思えます。

座右の銘 「寸尺前進 洋々万里」

リラックスタイム

「その道一辺倒だろうと笑われそう、言いたくないんですが(笑)、やっぱりゴルフです。プレーそのものはもちろん、広々とした開放感がたまりませんね！」



副会長 和合アヤ子

Ayako Wakao  
福島県住宅生活(協) 理事長

インターネットやメール、いつでもでも情報を得て連絡をとることが出来る時代ですが、私は自分から出向き現場を見ること、直接の対話を持つことを信条に多くの方々の交流を大切にしています。創生期間に入った今も、県外では福島のことを「支援」として買ってくれて、「選んでくれる方はまだまだ少ない厳しい現状を目の当たりにします。今回のビジョンは困難でも着実に前進してきた福島姿であり、これから全ての世代が「素敵な人生を送れるまち」になるための指針です。そんな福島を県内外の方々に発信できるように、ビジョンの冊子を携行しているんですよ。

ビジョンの達成を通じて私が目指したいのは、若い世代がチャレンジし活躍できるまち、ご高齢の方が地域との交流を実感できるまちです。商工会議

### 地域を育てる存在に

所は様々な人や情報を集めることができる組織ですから、商工業者を始め、市民、行政、教育機関、農家などを繋ぎ、交流を深めていけるような「コミュニティづくり、つまりは地域を育てる存在」として力を発揮していきたいです。今期も雇用・育成委員会を担当させていただきます。各高校を訪問しますと、未来ある頼もしい学生が本当に多いことが実感できます。まちの将来を担う彼らが、経営を学んだり起業の夢を描けるよう、チャレンジショップ的な場を実現できないか、地元企業と学生の交流深化に向けてなすべきことは？など考えています。このような取り組みはハード整備のように早期に目に見えるものではありませんが、人の「心」を繋ぎ、施策に反映させるソフトの充実はまだづくりに不可欠です。そんな視点で任務を全うしていきたいと思えます。

座右の銘 「一期一会」

リラックスタイム

「意外！と聞かれてしまっんですが(笑)、手仕事が好きで料理も好きです。自分の手料理でワインを一杯、内食を楽しむ時間を増やしています。」

震災から2年経過した頃、「復旧」ではなく「復興」に向けた具体策として、当時ご就任なさったばかりの渡邊会頭らと今回のビジョンの策定を決めました。まずは実態を知ろうと、全会員にアンケートを実施し、予想以上に厳しい状況であることを知りました。中でも衝撃的だったのは後継者不足の問題、回答者の約4割が「後継者がいない」と回答し、更にその半数が自分の代で事業を終えようとしている事実でした。課題克服のため策定するビジョンは、他都市を真似ず、福島の強みを活かして弱みを捨てられるものによつて、「福島らしさ」を全面に打ち出すという意識を共有し、復興・再生(現：復興・創生)委員会を中心に策定を進めました。

### ビジョンの具現化が使命

テーマごとに各委員会で検討していただこうと考えています。創生期間の取り組みが福島の将来を決めるというも過言ではないので、この第29期は極めて重要です。

私は、福島の真の復興のためには交流人口の拡大が最大の力ギだと考えています。福島の強みは住みやすさ、東京と盛岡の中間点かつ奥羽本線の起点であるという利便性です。温泉地にも恵まれ、日帰りでも宿泊でも多くの方々をお迎えできるポテンシャルがあります。この強みを最大限に活かすのは福島駅を基軸としたまちづくり、コンパクトシティの実現だと思えますので、今後は駅周辺に、魅力的で稼働性の高い集客施設を整備するなどを検討したいですね。

私も副会頭を拝命し早4期目です。孫の世代に明るい何かを残せるような仕事をしていきたいです。

座右の銘 「信用と信頼を大事に」

リラックスタイム

「慌しくも6人の孫の顔を見ることですね。週末は子どもと孫が集い、賑やかに食卓を囲んでいます。」



副会長 後藤 忠久

Tadahisa Goto  
(株)後藤歯科商店 代表取締役



副会長 坪井 大雄

Daiyu Tsuboi  
福島貸切辰巳(屋)自動車(株) 代表取締役社長

### 地域・会員のお役に立てる商工会議所に

今期より副会頭を拝命致しました。現体制は正副会頭同士のチームワークや事務局との連携が大変良いので、私もその輪にとけこみ、精進していきたいと思えます。また、商工会議所は「商工会議所法」の中で、商工業者の発展と社会の福祉の増進に奉仕し貢献する団体であることが謳われていますので、その基本を胸に職責を全うしていきたいと思えます。

今回のビジョンは復興・再生(現：復興・創生)委員会企画や編纂に携わりましたが、全会員に業種ごとに実施したアンケートの集約として、生の声が反映できた点が大きな成果だと思えます。課題を明確にしたうえで、それを解決し将来の姿を描いていくための施策の検討を行い、目指すべき姿を提示しています。

10年以上も前になりますが、日本商工会議所青年部の役員として東北六県を始め全国のまちや会議所を数多く訪

問しました。他都市と比較してみると福島の良さやポテンシャルの高さに気がつき、少し視点を変えて官民の協同体制を活かしたり、明確なブランドデザインを描くことができれば伸びるまちだと実感しました。ビジョンが完成しましたから、「健都ふくしま」を目指して今後は実行あるのみですね。

更に本年は創立100周年。過去をしつかりと振り返り気持ちを新たにリスタートです。

会員の皆様には、この場をお借りし、この最高の節目をご一緒に迎えていただくこと、そして一層商工会議所をご活用いただきたいということをお願いしたいです。商工会議所の業務の根幹をなす重要な使命のひとつに、税務、労務、経営相談など、会員の皆様のご商売のサポートがあります。積極的にご活用いただき、ご商売にお役立ていただきたいと思います。

座右の銘 「四望無碍」

リラックスタイム

「読書でしようか。本でも新聞でも何かしら読んでほしい。活字と向き合うのが落ち着くんですよ。」

## こちら中小企業相談所



当所の中小企業相談所担当職員から、事業主の方に経営改善やお悩み解決にお役立ていただくための情報を提供するコーナーです。

●今月は「平成28年分所得税決算・確定申告のご相談について」のご案内です。

お問い合わせ TEL.024-536-3900

当所中小企業相談所では、毎年個人事業者の皆さんの決算・確定申告書及び消費税確定申告書作成のお手伝いをしております。本年も下記のとおり実施いたしますので、ぜひご相談ください。

### 商工会議所で簡単・安心・有利な申告

- ◎経営指導員が一对一で親切丁寧・迅速に対応いたします。もちろん無料です。
- ◎減価償却費や住宅控除などの面倒な計算もご相談ください。
- ◎出来上がった決算書・申告書は、当所が依頼する税理士がチェックします。
- ◎税理士チェック済みの決算書・申告書は、皆さんの代わりに税務署へお届けします。
- ◎皆さんの役に立つ正しい節税方法をアドバイスいたします。

## 平成28年分所得税決算・確定申告のご相談について

対象	個人事業者の方(白色申告の方もどうぞ)
相 談 期 間	平成29年2月1日(水)～3月14日(火)まで 平日の9時～12時、13時～16時 (土・日・祝日は開催しておりません) 注意：事前予約制となりますので、ご相談を希望される方は、あらかじめお電話にてご予約下さい。
場 所	コラッセふくしま8階 福島商工会議所
ご持参頂く物	・平成28年分の決算・確定申告に使用する書類一式(税務署から送付されたもの)及び印鑑 ・現金出納帳・売上帳・経費帳 等 ・平成27年分の決算書・確定申告書の控え ・生命保険料や地震保険料(旧長期損害保険料を含む)の控除証明書、小規模企業共済の証明書 ・健康保険料や介護保険料など、社会保険料の支払額が分かるもの ※国民年金保険料については、控除証明書(日本年金機構から送付されたもの)または領収書の添付が必要ですので、お忘れずにお持ちください。

※土地や建物の譲渡所得のような複雑な事案がある場合には、相談時間内での対応ができないことが考えられますので、税務署や税理士事務所等でご相談くださいますようお願いいたします。

※コラッセふくしま専用駐車場は30分のみ無料です。期間中は、コラッセふくしま内でのイベント等で、駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関での来所をおすすめいたします。

## 消費税確定申告のご相談について

3月16日(木)～30日(木)まで、消費税申告書作成のお手伝いをいたします。予約制となりますので、事前にお電話にてご予約の上、お楽しみください!!

——— 問合せ、ご相談は(平日9:00～17:00まで) ———

## 不動産ひとくちコラム

### 2017年不動産市況

福島商工会議所不動産部会 部長  
日本通商(株)

代表取締役 藤田 勝太郎

新年を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。  
平成28年の土地住宅市場は、マイナス金利による住宅ローンの超低金利や税制緩和もあり、プラス要因による土地住宅産業は需要があり、潤いのあった年でした。

さて、日本経済は個人消費と設備投資の内需が横ばいに留まる中、輸出が増え、これからの経済対策、公共投資効果が期待されます。総務省がこのほど公表した2015年国勢調査確定値によると75歳以上の人口は1612万人となり、14歳以下の子供の人口1588万人を上回ります。在宅医療、介護の場となるサービス付き高齢者向け住宅は、高齢者にとって安心した生活を送ることができる住宅の一つですが、絶対的な住戸数が不足している状況です。  
2017年度の国の政策や税制は、国の将来を左右するともいえる重要なものです。住宅政策の根幹をなすものであり期待されます。少子高齢化、人口減少が

進む日本において空き家問題の解決は国策として取り組むべき課題といえます。2013年実績調査約820万戸空き家対策は、まったなしの状況です。平成26年11月には空き家対策の推進に関する特別措置法が成立するなど政府も取り組みを強化しています。平成28年5月の宅建業法一部改正では、宅建業者にインスペクシオン(建物検査)に関する説明義務を課す規定が盛り込まれました。既存住宅流通活性化に向けた大きなキーワードである「安全安心」、安全で安心に取り扱える住宅とは即ち良質な住宅のことです。インスペクシオンはこのキーワードを具現化する大きな手段といえます。政府は、2017年度税制改正大綱を決定しました。

住宅不動産関連では、懸念だった事業用資産の買換特例が延長、タワーマンションにかかる固定資産税を見直し、階層が上がるごとに増税する仕組みを導入します。良質な住宅のストックの形成を促進するために長期優良住宅リフォーム減税を新たに創設しました。  
その他、期限切れを迎える多くの特例を延長した一方で、サービス付き高齢者向け住宅の所得税と法人税の割増償却特例は、本年3月31日で廃止になります。今後の住宅の課題として、これまでの経済対策を含めた措置の実施状況や、今後の住宅市場の動向を踏まえて必要対策を検討するとしています。

終わりに、本年も皆様にとりまして健康で幸多い明るい年となりますようご祈念申し上げます。

平成29年 元旦

地方新聞社厳選 | 全国の逸品 お取り寄せ

47CLUB(よんななクラブ)は、日本全国の“旬”を地方新聞社が厳選して集めたお取り寄せサイトです。福島民報社は地元をよく知る地方新聞社として県内の知られざる名店やとっておきの商品を紹介しています。47CLUBの多彩な商品をご自宅・ご贈答用でぜひご利用ください。

まずは 47CLUBを 検索!

よんななふくしま 検索

fukushima-minpo.jp/47club/

商品・出店に関するお問い合わせは

福島民報47CLUB事務局  
ご利用時間 平日9:00～18:00(土日祝日休み)  
メールでのお問い合わせ: 47club@fukushima-minpo.co.jp  
電話でのお問い合わせ: ☎0120-479075

# 会議所のうごき

KAIGISHO NO UGOKI

**15日** 福島市医産連携研究会



28名が参加。昨年、医療機器ベンチャーとして拠点を福島市に開設したイービーエム(株)を訪問。「福島市で行う世界最先端心臓外科手術トレーニングの事業化」のテーマにて、同社の代表取締役朴栄光氏より、「経済産業省予算に係る補助金等施策等、国の医療機器開発支援の現状」のテーマにて経済産業省東北経済産業局の担当者よりお話を伺った他、拠点施設「ふくしま製造開発センターFIRST」の手術トレーニングシステム等を見学した。

**21日** 福島市中心市街地活性化協議会



47名が出席。第2期中心市街地活性化基本計画の進捗状況と今後の計画について説明を行い、既存計画の変更(案)及び新規計画(案)を審議し、承認した。

昨年の11月22日〜12月14日にかけて、当所の10の各部会を開催し、左記のとおり、部会長を選任しました。

- 第29期 福島商工会議所 部会長名簿 (敬称略)
- 卸商業部会 石本 朗(株福島丸公)
  - 小売商業部会 三瓶 善明 (株ダイユーエイト)
  - 工業部会 加藤 利夫(加藤鉄工(株))
  - 建設部会 佐久間政文(東信建設(株))
  - 金融業部会 樋口 郁雄(福島信用金庫)
  - 運輸交通業部会 佐藤 健介 (福島トヨタ自動車(株))
  - 旅館飲食業部会 渡辺 豊 (株ザ・ホテル大亀)
  - 情報文化部会 山内 功 (東日本電信電話(株)福島支店)
  - 不動産業部会 藤田勝太郎(日本通商(株))
  - 農業部会 菅野 松一 (イノブネット(株))

「小規模企業共済制度に関する相談コーナー」の設置のお知らせ

小規模事業者様の節税対策はもとより、ゆとりある老後づくりのための「小規模企業共済制度」についての相談コーナーを左記のとおり開設します。

◆開設日 平成29年2月27日(月)〜28日(火)

◆相談員 (独)中小機構東北本部共済普及プロジェクトマネージャー 千田 透氏

◆相談内容の一例

- ・制度に関心のある会員の方へのご案内
- ・ご契約者の共済金の受け取りに関するお問い合わせ

※ご契約者は契約者番号のわかる機構からの通知物をご持参願います。

本件の詳細に関するお問い合わせは 経営支援課 ☎536139000まで

署名活動にご協力願います

2020年4月からのNHK朝の連続テレビ小説に古閑裕而・金子(さんご) 夫妻の人生を描く物語の放映を!

2020年の東京オリンピックにて古閑裕而氏の「オリンピックマーチ」を再度鳴り響かせたいの思いから、当所は2020年4月からNHK朝の連続テレビ小説にて、古閑夫妻の物語を放映していただくよう強く要望しています。

つきましては、会員の皆様にも本要望に関する署名活動のご協力をお願い申し上げます。

※署名用紙は当所ホームページからダウンロードいただけます。

経営上の悩みごと、創業時の困りごとを信用保証協会に相談してみませんか!

通常営業時間帯での **窓口相談** + 日中お忙しい方のために **夜間相談会** を実施中!

夜間相談は要事前予約

お問い合わせは 福島営業店 Tel. 024-526-1530 経営支援室 Tel. 024-526-1520

「公的保証」で中小企業を応援します! 福島県信用保証協会

## 福島商工会議所 女性会

### 新年のご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。福島商工会議所女性会会長の、齋藤可子でございます。年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当会は、昭和55年に発足されて以来、女性経営者の資質向上と商工業の振興に寄与すること、そして一般社会福祉の増進を図ることを目的に、「行動する女性会」として、これまで様々な事業を展開して参りました。

当会が発足して間もなく始まったバザーも昨年で34回目を数え、今や当会で継続して行っているメイン事業のひとつでもあります。

また、春の誘客事業である、福島駅東口駅前での観光客に対する街案内や、花の絵手紙コンクールの実施、福島の玄関口のシンボルとして定着している花時計の維持・管理など、これからも当会の事業が福島の復興の一助となるよう、会員一丸となって進んでいく所存です。

そして、今年には福島商工会議所が創立100周年を迎える記念すべき年でございます。当会といたしましても、全面的

に親会との連携を図り事業を推進して参りますので、皆様方の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

### 12月定例会・クリスマスランチ会の開催

12月6日(火)、32名の会員の参加のもと、峰亀曾根田店に於いて年内最後の定例会とクリスマスランチ会を開催しました。

ランチ会では、美味しい御食事をいただき、その後、木の実のクリスマスツリーアレンジメントを会員の宮崎悦子氏のご指導のもと参加者全員楽しく製作しました。

それぞれゴージャスで可愛らしい、予想以上の出来に、皆大満足の様子でした。今回で3回目のクリスマスツリーのアレンジメント。

会員の皆様の会社やご家庭で観る人の心を和ませてくれたことでしょう。



## ~29年度の役員体制が決定~ 平成28年度臨時総会を開催

福島商工会議所青年部 平成29年度役員体制			
No.	役職	氏名	事業所名
1	会長	明石 英樹	(株)明石設計事務所
2	副会長	田中 富幸	(有)田中セメント工業
3	副会長	渡辺 啓道	渡辺ひろみち司法書士事務所
4	副会長	佐藤 雅一	佐藤マシナックス工商(株)
5	専務理事	野地 利彦	(株)福南電気
6	渉外理事	齋藤 健悟	福島ツーリストサービス(株)
7	理事	太田 哲	(株)四輪販売福島
8	理事	加藤 大信	加藤塗装工業(株)
9	理事	千葉 貴行	(株)サン・ペンディング福島
10	理事	門馬 晴美	(株)HARUS
11	理事	西形 吉和	(株)西形商店
12	理事	加藤 孝之	加藤鉄工(株)
13	理事	小林 大輔	(株)家具のこばやし
14	理事	山田真樹人	(株)福島映像企画
15	理事	安部 茂	東栄物産(株)
16	理事	齋藤 嘉紀	丸藤ガラス(株)
17	理事	佐藤 良智	(株)アプト
18	理事	菱沼謙一郎	菱沼労務管理事務所
19	理事	加藤 淳志	(有)カトウサイテック
20	出向理事	池田 和美	池田運送(有)
21	出向理事	大内 淳子	(有)ユニオン企画
22	出向理事	渡辺 仁	新広建設(株)
23	監事	石崎 孝行	(株)エフイーシー
24	監事	山岸 竜大	ワイチーエル(株)
25	直前会長	加藤 貴之	HEART 計画(株)

福島商工会議所青年部 平成29年度相談役			
No.	役職	氏名	事業所名
1	相談役	酒井 祐一	(有)第一食品

12月15日(木)、平成28年度の臨時総会をザ・セレクト福島で開催し、平成29年度役員体制が決定しました。

次年度会長には、現副会長の明石英樹氏(株)明石設計事務所)が選出されたほか、左記の方々が次年度役員に選出されました。任期は今年4月より1年間。



▲明石英樹次年度会長による所信表明での一幕

## OPICS 青年部トピックス

臨時総会終了後は、引き続きクリスマスパーティーを開催し、大いに盛り上がりました。

# 会議所information

## 会員交流会

- 日時：平成29年2月16日(木) 14:00~16:00
- 場所：コラッセふくしま  
~プログラム~  
◇第1部 14:00~15:00(コラッセふくしま8F 当所会議室)  
基調講演  
テーマ 「地域卸売業の生きる道」~海外の販路拡大を狙う~  
講師 渋谷レックス(株) 取締役専務 渋谷 裕司 氏  
◇第2部 15:00~16:00(コラッセふくしま12F 交流サロン)  
名刺交換会  
ご自身の名刺をご持参の上、参加者と積極的な交流をお願いします。  
自社のパンフレットやサンプル品等をご持参いただき配布いただくこともできます。
- 参加料：無料
- 定員：30名 (定員になり次第締切ります)  
詳細・お申込みは同封のチラシをご覧ください。



本誌に同封しています

## セミナー

- ◇「おカネなし・コネなしでも取材殺到！集客・販促に役立つメディア・テレビ活用 7つの極意」
- 日時：平成29年1月24日(火) 14:00~16:00
  - 場所：コラッセふくしま8F
  - 内容：テレビに取り上げられて成功する人、失敗する人/実例に見る「稼ぐためのテレビ出演」他
  - 講師名：メディア活用プランナー/FP相談室マネー&キャリア 代表 大内 優 氏
  - 参加料：無料
  - 定員：50名(定員になり次第締切ります)  
詳細・お申込みは経営支援課 ☎536-3900までお電話下さい。

# より、そう、ちから。

東北電力だからお役に立てる、より沿う力。  
それは、お客さまひとりひとりを見つめライフスタイルに合った  
快適な暮らしを提案していくこと。

そして、これからも地域に、寄り添う力。  
それは、創立以来の変わらない想いを胸に地域とともに  
発展しつづけること。

心からの感謝の気持ちと大きなこころざしを持って  
ひとりひとりへ、そして地域へ。

私たちは、皆さまのお力となれるよう、  
取り組んでまいります。



トーホー産業(株)グループ

**トーホー産業(株)** (包装資材の企画・製造・販売)  
福島市鳥谷野字芝切23番地 ☎024-545-5111  
支店・営業所 東京 仙台 郡山 山形 <http://www.toho-s.com>

**(有)トーホーグラビア** (グラビア印刷事業)  
福島市鳥谷野字芝切23番地 ☎024-545-5111

**(株)風味堂** (食品製造事業)  
山形県天童市大字道満867 ☎023-654-5011

**(有)明和印刷** (ラベル印刷・製造事業)  
福島市岡島字天神平23-2 ☎024-528-6311

**TGA Pte.Ltd.** (トーホー産業シンガポール法人)  
TOHO Global Arrows Pte.Ltd.

福島商工会議所 ぶくしま一月号  
発行平成二十九年一月十日  
第七六〇号  
福島商工会議所  
〒九六〇一八〇五三  
福島市三河南町一三二〇  
☎(〇二四)五三六一五五一  
印刷所 株式会社進堂印刷所

新年あけましておめでとうございます。本年もご愛読くださいますようお願い申し上げます。  
新春特別企画として、4名の副会頭様にインタビューさせていただきました。マンツーマンで福島について、会議所の事業についてのお考えや思いを伺うことは、自身が携わる日々の業務の意義を見直したり改めて実感できる貴重な時間となり、モチベーションをいただくことができました。  
如何せん惜しむらくは、様々なお話を伺う中で最もおもしろかったのは、本誌には書けないようなことやこんなこと、そんな話をお伺いできるのは担当者の特権と醍醐味なのであります。

### 編集後記

**福島駅西口インキュベーションルーム講演会**  
「地域活性化のための創造的事業の立ち上げ方~起業から上場までの道のり、福島の復興にかける想いと今後の展望~」  
講師：加藤博敏氏  
(株)ピーエイ 代表取締役社長  
日時：平成29年2月11日(祝)  
14:00~15:30  
場所：コラッセふくしま5階研修室  
定員：70名(先着順)  
主催：福島県  
入場は無料です。参加ご希望の方は福島駅西口インキュベーションルーム ☎525-4048までお電話ください